

【資料 2】

当センターを受診された患者さまへ

当センターを受診された患者さまへ 当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを 希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	重症ギラン・バレー症候群における歩行能力の長期経過に関する後方視的検討 (医療 7-17)
当院の研究責任者 (所属)	篠崎 若葉 (しのざき わかば) (千葉県千葉リハビリテーションセンター 成人第二理学療法科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	該当者なし.
本研究の目的	ギランバレー症候群は、一般的には 3-6 か月で回復する予後良好な疾患である。一方、6 か月経過後も独歩不能であったり、恒久的な障害が残る重症例も 15-20%存在する。重症例を予測する方法として mEGOS 等の評価バッデリーは存在するが、発症 2 週間時点での評価であり、回復期以降の予後予測としては使用しづらい現状がある。それにより、介入内容や退院時の移動手段等についての目標設定には難渋することが多い。また、現状では回復期病棟の入院期間は 150 日と制約があり、同一施設で長期的に支援することが難しい現状もある。本研究では、当院に入院されたギランバレー症候群患者の中で、6 か月経過後も独歩獲得に至らなかった重症例を対象とし、入院時・退院時の移動手段を比較することで長期的な経過の傾向を分析することを目的とした。
調査データ 該当期間	2005 年 3 月 1 日 ～ 2025 年 6 月 30 日
研究の方法 (使用する試料等)	○対象の方々 1) 本研究に同意を得られた千葉県千葉リハビリテーションセンターの入院または外来を利用しているギランバレー症候群の患者さま方 2) 発症 6 か月経過後に日常生活にて歩行困難であった方 3) 年齢 16 歳～88 歳 ○利用する情報 ・ 日常生活活動評価, 診療情報.
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はない.
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は 削除致します。 また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さま個人が特定される情報は利用しません (動画や写真は個人が特定できないように加工した上で利用します)。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話 : 043-291-1831 (千葉県千葉リハビリテーションセンター代表) 担当者 : 成人第二理学療法科 篠崎 若葉 (しのざき わかば)
備考	